＜先週の説教から＞

『召天者記念礼拝 ― 彼らも永遠の栄光へ』

武田 真治　牧 師

イザヤ書　２５：６～９　テモテ手紙Ⅱ　２：８～１３

本日の礼拝は《召天者記念礼拝》として献げています。

そして、まさに今日の箇所はこの召天者を思い起こす時によく読まれる箇所です。それは最初の８節の言葉「イエス・キリストのことを思い起こしなさい。」という言葉にもよく表されています。この「思い起こす」と訳されている言葉は（ムネムネオー）で、もともとは（ムネーマ＝墓碑・お墓）という言葉から来ており、何より、先に天に召された方々を「思い起こす」という意味が込められています。この手紙は伝道者パウロが、彼が導ている若い伝道者テモテに宛てて、牧会上の諸注意やアドヴァイスを書いている手紙ですが、しかし自分の言葉や助言に完全に従えと言うのではなく、何よりイエス様のみ言葉とみ業に聞き従うようにという教えがこの「イエス様を思い起こせ」という言葉なのです。ただ、今は居られない方としてイエス様のことを思い起こすという意味ではなく、続けて「わたしの宣べ伝える福音によれば、この方は、ダビデの子孫で、死者の中から復活されたのです」と言っています。これは復活してイエス様は“今も生きておられる方”であり、生きている私たちに必要な言葉と導きを与えてくださる方として受け止めて欲しいという思いが込められていると言い得るのです。

実は、このパウロの言葉はとても切実で、なぜなら次の節に「この福音のためにわたしは苦しみを受け、ついに犯罪人のように鎖につながれています。しかし、神の言葉はつながれていません。」とありますように、今。彼は牢獄に捕らわれており、もはやテモテに助言を与えることもままならない状況なのだと。だからこそ、イエス様のみ言葉に特に聞き従っていってほしい、イエス様から与えられる御言葉は「つながれることなく」あなたの生涯を支え、守り、導く言葉なのだからと。未来を見据えて願っている言葉なのです。このパウロの教えはまさに、今を生きている私たちにも通じている大切な教えではないでしょうか？

更にパウロは牢獄につながれながらも人々にみ言葉を伝え続けようとする思いを「だから、わたしは、選ばれた人々のために、あらゆることを耐え忍んでいます。彼らもキリスト・イエスによる救いを永遠の栄光と共に得るためです。」と続けています。ここで「彼らも」の「も」に注目して欲しいと思います。これは自分「も」含めてという意味と、すでに天での永遠の栄光を与えられた人たちのこと「も」前提にされている言葉です。残された私たちも、いつか天の主の御もとに召される“栄光の時”が与えられますようにと願いながら、信仰に生きる者でありたいと！そして、他の人々「も」一緒に天へ迎えられる者に加えて頂けるようにと祈り、願い、主のみ言葉を伝えていきたいと願います。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【今週の集会】

＊聖書研究・祈祷会　Ⅰ．11 月 11 日（水）20：00
Ⅱ．11 月 12 日（木）10：30

聖書研究：　ヨブ記
祈祷主題：　壮年会を覚えて
担 当 者：　(水) KK　(木) AA
祈りに覚える人：　HM さん　HH さん

【教勢報告】

主日礼拝　男 24　女 49　計 73
祈 祷 会　Ⅰ．男 4　女 2　計 6　Ⅱ．男 1　女 7　計 8
日曜学校　幼稚科 4　小中科 8　計 12

【次週礼拝】　１１月　１５日（日）

聖　書：　創世記　３２：２３～３１
ルカによる福音書　１０：１７～２０
説　教：「ルカ 91 ― 名前の大事さについて」
武田 真治 牧 師
讃美歌：１２７(1)、３２、２２３(1～4)、２２３(5～7)、４５１、９２(1)

【次週当番表】

司式:IK 長老　奏楽:KH　礼拝:IK 長老
献金：MR　MY　受付：KN　YS
会堂準備：KT　NE　HH　HH
看板：SC　週報：YS　お花：

【次週集会予定】

礼拝前：・日曜学校(礼拝・分級)　・はこぶねルーム
・聖書輪読会
礼拝後：・お茶の会　・牧師と語る会　・聖歌隊練習
・オリブの葉編集委員会　・幼稚園理事会
・日曜学校教師会

６７－４５

週　報

2026 年度　教会標語

「神様に“望み”を持って、生きる！」

２０２６年　１１月　８日

日本キリスト教団　**上尾合同教会**
牧　師　**武田　真治**

〒362-0041　上尾市富士見２－３－33
TEL＆FAX　048－771－6549